



# 活動名：AIを使った 共創協働支援プロジェクト

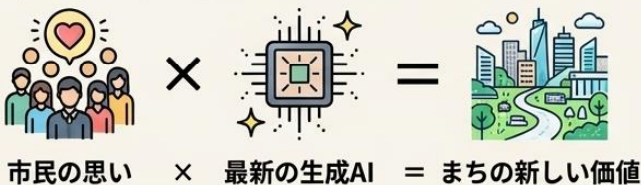
団体名：まちづくりAI+（プラス）

NotebookLM

## 地域の未来を描く「まちづくりAI+」： 事業概要と目的

団体名：まちづくりAI+（プラス）

生成AIを活用し、「まち」「仕事」「価値観」を  
アップデートする。



延べ参加人数：約**150名**

地域住民が最新のAIやIT技術に直接触れる体験型ブースを出展。個人の理想や感情を可視化し、世代を超えて「自分たちのまち」について考える機会を創出。「直接体験」と地域団体への「伴走支援」の双方向から地域活性化を後押しします。



NotebookLM

# 地域にAIの体験を。4つの主要イベントの実績と広がり



**八女市役所新庁舎完成記念「ナイトマルシェ」** 参加者: 約50名 (親子参加者含む)  
 カスタマイズGPTを活用し「理想のまち」を画像生成。プリントアウトして掲示し、参加者同士で価値観を共有。



**秋のこども職業体験 (九州芸文館)** 参加者: 約20名 (主に小学生)  
 事業者への質問をもとにAIで原稿を生成。ITエンジニア (民間企業) がプログラミング実演を行い、教材をデジタル化。



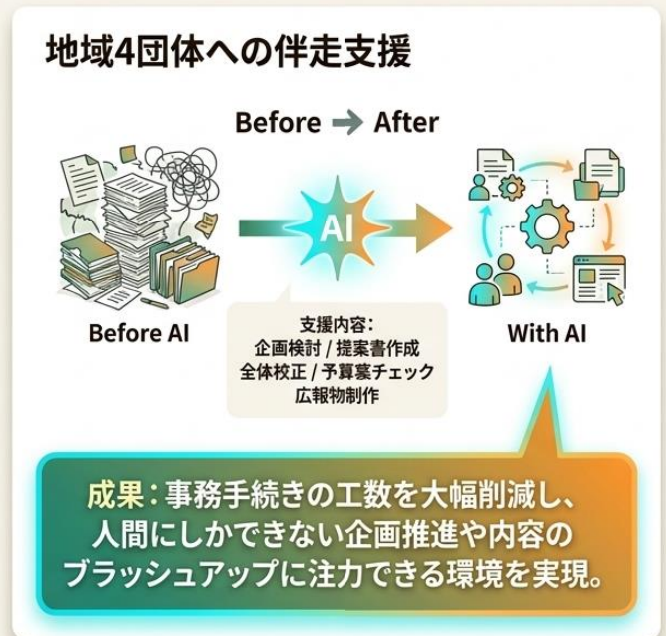
**みさきフェスタ (みさき学園)** 参加者: 約20名 (主に小学生)  
 教育用マイクラフトを活用したSTEM教育・プログラミング的思考の体験会。専門講師2名による指導。



**八女スマイルフェスタ (おりなす八女)** 参加者: 約60名 (親子参加者含む)  
 個人の価値観や感情をもとに「やさしい物語」とイラストを生成。多様性と思いやりをテーマに人権意識の向上を促進。

NotebookLM

## 行政・民間・地域団体を繋ぐ、新しい協働モデルと事務支援

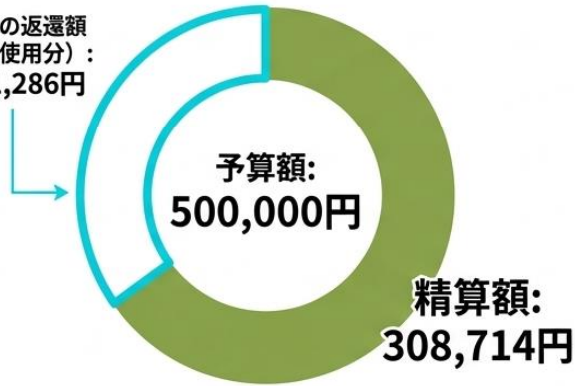


NotebookLM

# 補助金の活用実績（決算報告）と、持続可能な未来へのロードマップ

## 補助金の活用実績（決算報告）

市への返還額  
(未使用分):  
191,286円



ソフトウェア（生成AI・デザインツール）の厳選や、中古PC機材の活用により、高い事業効果を維持しながら大幅な費用削減を実現。

## 持続可能な未来へのロードマップ





世界の絶景から、故郷・八女の光へ。

令和7年度 まちづくり提案事業 成果報告

## 藤木ケンタ写真展 「around the shine」

写真でまちづくり

代表 藤木ケンタ

(日経ナショナル ジオグラフィック写真賞2015優秀賞受賞)



NotebookLM

### 会場① 八女市役所 around the shine \*yame



- 八女の自然・神社・茶畑など地域を切り取った15点を展示。
- 展示プレートには「八女杉」を使用。
- 壁面の背景には伝統工芸の「竹細工すだれ」を採用し、空間全体で八女の素材を演出。

### 会場② 旧八女郡役所 around the shine \*new world



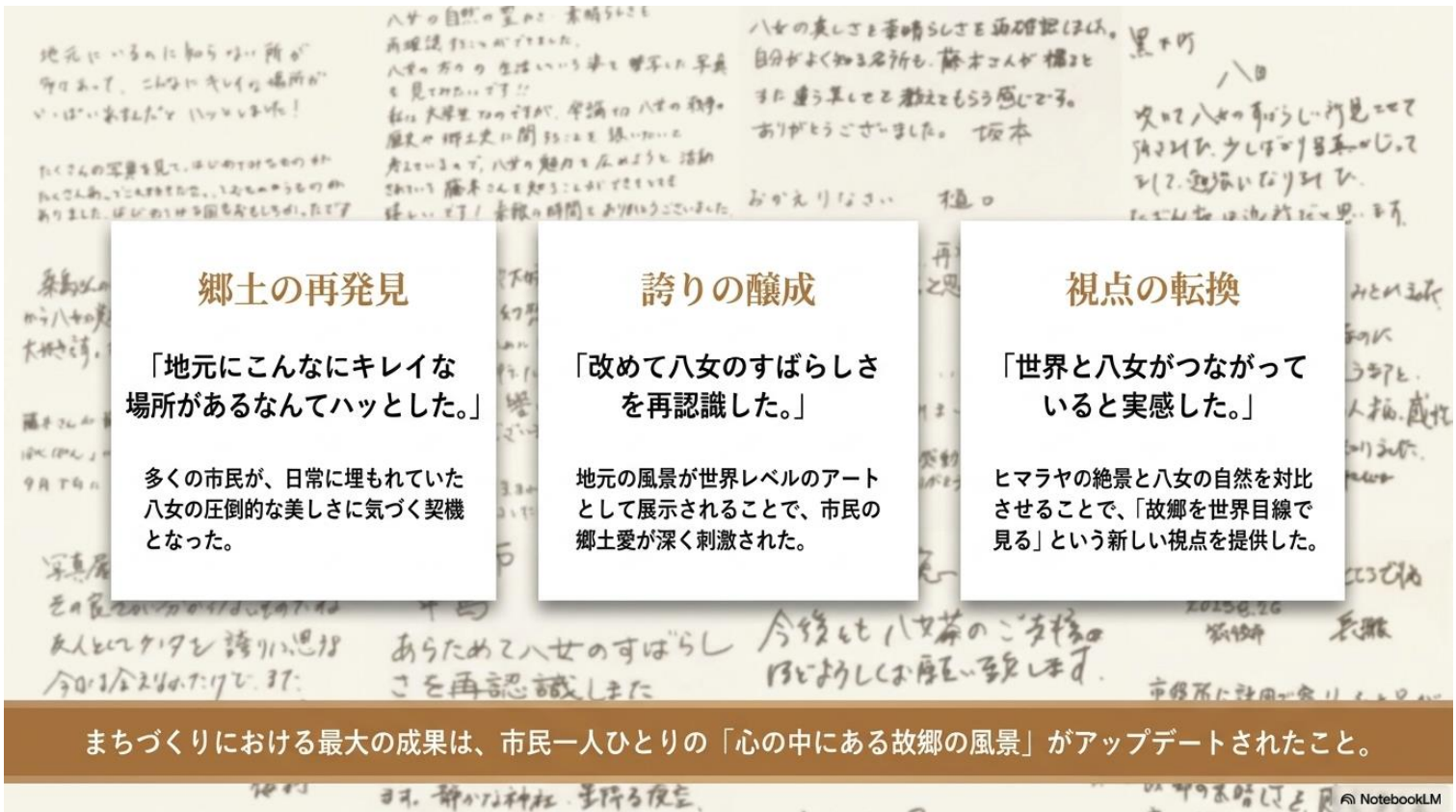
- 広大な土間空間に、ヒマラヤやアフリカなど世界の作品約30点を展示。
- 長い布を吊り下げたインスタレーション形式。
- 来場者が「世界を旅するような体験」を創出。



### 空間を繋ぐ仕掛け

最終日の夜には来場者を招いたスライドショー上映会を開催。  
また、世界の山々で構成した写真集「ZINE M」を制作・頒布。

NotebookLM



### 郷土の再発見

「地元こんなにキレイな場所があるなんてハッとした。」

多くの市民が、日常に埋もれていた八女の圧倒的な美しさに気づく契機となった。

### 誇りの醸成

「改めて八女のすばらしさを再認識した。」

地元の風景が世界レベルのアートとして展示されることで、市民の郷土愛が深く刺激された。

### 視点の転換

「世界と八女がつながっていると実感した。」

ヒマラヤの絶景と八女の自然を対比させることで、「故郷を世界目線で見ると」という新しい視点を提供した。

まちづくりにおける最大の成果は、市民一人ひとりの「心の中にある故郷の風景」がアップデートされたこと。

### メディアによる魅力の波及



西日本新聞（令和7年8月25日付・筑後版）にて「故郷八女美しさ活写」として大きく掲載。藤木氏のストーリーと共に、八女の魅力が市内外へ広く発信された。

### 首都圏との繋がり



「東京八女ふるさと会」にて展示とスライドショーを実施。八女にゆかりのある首都圏の人々に故郷の風景を届け、関係人口の創出に寄与。

### 地域文化への継続的貢献



地元の「黒木ぼんぼりフォトコンテスト」の審査委員を務めるなど、展示終了後も地域と深く関わる。

写真を通じた「まちづくり」の輪を、これからも八女から世界へ広げていきます。

令和7年度まちづくり提案事業 成果報告 完了

百鬼夜行の宴

夜詣

2025

子ども向けWS

音楽・盆踊り

つながり、文化がつづく、これからも広がる祭り

こんにちは！ Y A M E



ご挨拶

## こんにちは！ YAME

Choris! YA~ME~

こんにちは！って挨拶交わせる町になると良いなという思いで発足した団体です。

老若男女、音と踊りと灯りでつながる日。

人と人が輪になり、文化とつながりの中で笑顔が広がり巡る。そんな時間が自然と流れるお祭りをめざしています。

こんにちは！ Y A M E

# 身体で楽しむ「音・踊・灯」

## 活動内容

### 音楽を楽しむ

- ・八女のアーティストや学生、  
著名なアーティストと幅広い音を楽しむ

### 子どもたちと創る

- ・肝試し（大人と子どもで企画や装飾準備）  
・子どもたちによる肝試しフライヤーの塗り絵

### 盆踊りを楽しむ

- ・盆踊りを知らない子どもたちへ向けて  
炭坑節や八女福島音頭のレクチャー

こんにちは！YAME



# 身体で楽しむ「音・踊・灯」

250816（土）夏祭り開催

（全体1,800名-2,000名）

### 音楽を楽しむ

- ・神社で音楽live  
お琴・民謡・三味線・ジャズ・ラップ  
セッション

### 子どもたちと創る

- 【横町交流館】午前500名 午後500名
- ・肝試し（233組）
- ・提灯ワークショップ（79組）
- ・妖怪メイク（40名）

### 盆踊りを楽しむ

- ・園児から70代までの参加

こんにちは！YAME



# 今後に向けて

活動を通して



実行委員メンバーだけでなく、地域や事業所など多世代をまきこみながら進めていく難しさと大切さを実感した。

「やらされる祭り」ではなく、「自分たちがやりたい」「町を自分たちで育てていく」意識づくりが今後継続には必要だと感じた。

今後の活動へのビジョン



実行委員メンバーの「やりたい」を形にしながら、地域の人々が毎年楽しみに集える「みんなで育む祭り」を目指す。「また来たい」「また来るね」と言ってもらえる祭り。

音楽・盆踊り・灯り・和装などを通じて世代を超えた交流を生み出す。

こんにちは！ Y A M E

## 上陽町から八女の自然と文化をまるっと楽しむ —石橋と茶畑と星野川—



### Joy-Joyo

Joy-Joyo

## 1. 活動の内容

### ○活動の目的

上陽町では様々な事を体験できるが  
別々の活動で連携出来ておらず  
大変もったいないと感じた為  
全てが体験出来るように整えようと考えました

### ○活動内容

3種類のアクティビティをゆるっと体験する  
レジャートライアスロンを導入  
(サイクリング、カヌー、フットパス:まち歩き)



### ○活動の様子



石橋の上を自転車で巡る



石橋を下からカヌーで見上げる

Joy-Joyo

## 2. 活動の成果

○開催日  
2025年4月13日  
2026年3月15日

○内容

4/13：上陽町内にてカーヌーとフットパスを実施後  
町内の飲食店で昼食  
ほとると石橋の里公園と中央大茶園を  
電動自転車又は市のマイクロバスで往復

3/15：茶の国観光案内所～中央大茶園～上陽町を  
電動自転車でサイクリング  
町内にて昼食  
カーヌーとフットパスを実施後  
茶の国観光案内所まで電動サイクルで移動



市の電動自転車を活用



町歩きでダニルミュージアムの説明を受ける



町内のピザ屋で昼食

Joy-Joyo

## 3. 今後に向けて

### 【感想と課題】

- 小学生から60歳代、外国籍の方など  
多数の方に参加して頂き、沢山の意見を頂けた
- 男女や年齢による体力差で  
サイクリングの全員同時の実施が難しかった

### 【今後の活動のビジョン】

- 大人数(複数の組)ではなく  
少人数(一組ずつ)での実施が望ましい
- イベントとしてではなく予約毎に実施
- HPを準備中

4.福岡県上陽町コース  
水と緑の町、上陽  
上陽町を流れる黒野川と緑豊かな石橋、大ノノマの八女大茶園を巡るコース。綺麗な  
清流でのカーヌー、ダニルミュージアムの見学、お食事はもちろん、八女大  
茶園園遊会の大パノラマで景色は必見です。

コース基本情報	
参加料	¥15,000 / お一人様 (小学生以下のお子様は半額)
スケジュール	9時30分集合 / 10時出発 / 12時昼食 / 15時終了予定
参加条件	身長145cm以上 (小学生以下のお子様は保護者同伴)

これまでの開催内容

上陽 LTA 予定表

時刻	A班	B班
10:00	カーヌーの 乗り方レクチャー	中央大茶園に バスで移動
10:15	新緑カーヌー	電動自転車の上乗へ！ ・野良猫 ・お食事(昼食) ・大茶園(三浦)
12:00	ランチ	VILAのRISの焼き立てピッツァを公開で♪
13:00	フットパス(町内散策)	案内 / かきつけあそびのこね会 黒野川公園 / 黒野川(二浦) / 流石橋(一浦)
14:15	黒野川中と石のアクティビティ	
	おやつタイム (任意)	
	お茶 / 大ノノマの八女大茶園(見学)	
15:30	中央大茶園から バスで移動	
16:00	自由時間	
	ダニルミュージアム(見学) / 大ノノマ(見学)による ダニル水戸上長の説明を予定(1.0分程度)	

コース紹介動画

Joy-Joyo

# 企業体験プログラムスプラウトin八女

団体名 **やめ研究所**  
YAME CITY SMILE LAB

## 1. 活動の内容

### ○活動の目的(目標)

地域経済の発展と活性化を促進することを目的とし、アントレプレナーシップ教育を通じて、次世代の企業家や革新的な思考を持つ人材を育成するとともに、地域の特性を活かしたビジネス機会の創出と、持続可能な経済成長を支える社会的企業家精神の醸成に努め、地域コミュニティの強化と地域住民の生活の質の向上を図る。

### ○活動内容(どういったことをしたか)

スプラウトは、大学生が高校生へアントレプレナーシップ教育を行うプログラムです。大学生による授業(座学)3回と高校生自身が企画・運営を行う実践(販売実習)を2回行いました。

### ○活動の様子



八女出身の先輩による講義



講義中の様子

**やめ研究所**  
YAME CITY SMILE LAB

## 2. 活動の成果

- 高校生6名と共に広い意味で地域で働くことがどういうことかの学びを深めることが出来た。
- スプラウト参加者のうち2名が八女市近郊(1名は八女市内)で就職することを選択してくれたが、地域で働くことの意義を見出すことに少しでも関与が出来たのではないかと思う。
- 大学生にも八女に関わってもらう機会をつくることが出来たことで今後の関係人口の創出にも関与出来る可能性を見出すことが出来た。



模擬店出店の様子



全員での集合写真

やめ研究所  
YAME CITY SMILE LAB

## 3. 今後に向けて

### 【活動をとおして分かったこと(課題)】

- 今後八女市で活躍する人材を増やすためには高校生の頃から具体的なキャリア教育をする機会を増やすことが重要だと感じた。
- 今年度は地域企業との交流が出来なかったが、地域企業との交流、具体的にはそこで働く若手社員とも交流の機会をつくることでお互いに利がある状態をつくれるのではないかと感じた。

### 【今後の活動のビジョン】

- 今年度は八女の人事部プロジェクトも立ち上がり、地域企業と若手を巻き込みやすい状態が出来ているので当初の目的達成のため人材育成も見込んだプログラムに昇華できるよう取り組んでいきたい。

やめ研究所  
YAME CITY SMILE LAB

高校生と地元企業が返礼品を企画・開発！  
ふるさと納税でまちおこし、ふるさと納税で育む郷土愛。



2025年5月24日始動！

ふるさと“八女市”を盛り上げたい高校生が地元のイイものを、  
もっと全国の人に『知ってもらいたい!』、『食べてもらいたい!』という熱い気持ちから  
地元企業と一緒に本気で考えて生まれた「ふるさと納税」の返礼品を日本全国へお届けします！

## 八女青年会議所 2025年まちづくり委員会 実施期間：2025年5月24日～11月16日

### 令和7年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

#### 【活動目的】

- ・市内の魅力的な企業や新たな魅力、まちづくりに尽力する人々の活動、また本事業で八女市が全国に広くPRされていることを地域住民に知っていただくことで自らのまちに誇りを感じてもらい、地方創生、人口流出の抑止に繋げる。
- ・本事業に関わる全ての方の人財育成、知見の拡大、未来への成果に繋げる。

#### 【活動概要】

- ・市内5高校と市内企業5社がチームを組み、半年の期間でふるさと納税返礼品の商品開発を行い、各ふるさと納税ポータルサイトに掲載し寄付を募る。  
実際の返礼品寄付ページに掲載するテキストや画像の企画制作、広報活動、返礼品の発送まで企業が導きつつ高校生主体で行う。
- ・5月の全体キックオフミーティングから開始。  
その後はチーム毎に集まって活動を進めていき、プロジェクト最終日には、関係者や来賓、一般参加者、施設来場者も交え開発した返礼品のプレゼンテーション大会や大試食会、返礼品の発送を行う。



全体キックオフミーティング

【活動風景①】

・各チーム別の企画会議は、半年間で各チーム毎に10回ほど重ねました。



- ・ターゲットの選定
- ・工場見学
- ・商品企画、開発
- ・試作
- ・掲載画像企画
- ・お礼状制作
- ・掲載テキスト作成
- ・写真撮影
- ・テレビ等メディア出演による広報
- ・文化祭での広報及び商品販売
- ・WEB上での広報
- ・プレゼンテーション資料作成
- ・試食会の準備 ……など

【活動風景②】

・プロジェクト最終日、大人も学生も、プロジェクト参画者全員が半年間本気で取り組んだ結果が発表会や試食会、寄付者様へ向けた返礼品の梱包と発送という形で実を結び、大盛況でした。

実際の返礼品



プレゼン大会の様子



返礼品の梱包と発送



来場者へ試食品の提供



大盛況の試食会



最終的にグランプリとなるチームを決定、表彰！





## 【協働企業、団体様】

### 《協働高校》

- ・輝翔館中等教育学校、生徒及び教員
- ・西日本短期大学附属高等学校、生徒及び教員
- ・福島高等学校、生徒及び教員
- ・八女農業高等学校、生徒及び教員
- ・八女学院中学 高等学校、生徒及び教員

### 《協働企業》

- ・(株)アルノ
- ・木村屋（八女茶sweetsなつめ）
- ・(株)ニシコーフードサービス
- ・まる昌醤油醸造元
- ・(株)マルミツサンヨー

### 《協働運営団体》

- ・八女市役所 企画政策課まちづくり推進係
- ・八女市役所 商工・企業誘致課 特産品係
- ・八女市健康増進施設 ベんがら村
- ・シフトプラス株式会社（八女市ふるさと納税運営会社）
- ・株式会社トラストバンク（ふるさとチョイス運営会社）
- ・地域商社ふるさぼ
- ・ヤマト運輸(株) 福岡広川営業所

### 《広報協力等》

- ・八女市社会福祉協議会
- ・東京福岡県人会
- ・関西福岡県人会
- ・京都福岡県人会
- ・中京福岡県人会
- ・静岡福岡県人会
- ・福岡県教育委員会総務企画課未来創造室
- ・株式会社西日本新聞社
- ・アンテナエイト八女
- ・KBC 九州朝日放送
- ・FM八女
- ・公益社団法人 日本青年会議所 福岡ブロック協議会
- ・公益社団法人 日本青年会議所 九州地区協議会

**ご協力いただいた皆様に、  
心より感謝申し上げます。**

っなごう! みんなの ワンハート  
**One Heart**  
~ゴールボールで広がる新しい世界~

一般社団法人 八女青年会議所

○活動の目的

子どもたちが様々なコミュニケーションの手法とその重要性を理解し、相手の個性を受け入れ認め合うことによって思いやりの心を育む。

○活動内容

- ・ パラスポーツのひとつであるゴールボールの体験
- ・ ゴールボールの元日本代表選手による講話
- ・ 八女の明るい未来に向けての子供たちの想いを記した巨大アートづくり



ゴールボールの体験を楽しむ子どもたち



子どもたちに講話を行う、ゴールボール元日本代表・浦田理恵氏

一般社団法人 八女青年会議所

## ○活動の成果

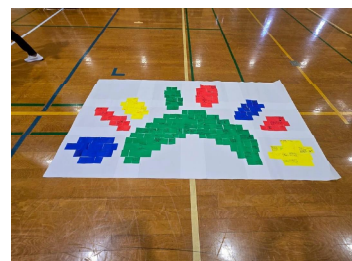
・これまで馴染みのなかったパラスポーツを体験できたことで、子どもたちがあらゆるコミュニケーションで相手に意思を伝えるための方法を考える経験を養うことができた。

・講師の実体験を聴くことで、子どもたちが多様性への理解を深められ、思いやりや利他の心を育むきっかけを作ることができた。

・大人になった自分を想像しながら、将来の自分の目標を立てる時間を子どもたち同士が共有する時間を作ることができた。



巨大アートづくりに励む子どもたち



完成した巨大アート

一般社団法人 八女青年会議所

## ○課題

・中には“楽しかった”で終わった参加者もあり、学びを言語化するための工夫が不十分であった。

・運動が得意な子と苦手な子で、体験の満足度に差が生じた。

・開催時期の関係上、熱中症対策に難渋した。

## ○今後のビジョン

・子どもたち同士で感想を共有する「対話の時間」をより多く設ける。

・他団体や地域の企業とも協働し、共生社会の理解を広げる。



事業終了後の集合写真

一般社団法人 八女青年会議所

# ダンスイングンヤクショ

## ダンスイングンヤクショ（市民DJの会）

### 1. 活動の内容

○活動の目的（目標）

旧八女郡役所を利用した音楽イベント

「ダンスイングンヤクショ」の開催

イベントを通じた八女市内外からの交流を作る

○活動内容（どういったことをしたか）

旧八女郡役所を利用し八女市内外のDJや

創作活動をしている人たちによる

マーケットを開催



イベントの様子 ※ダイジェスト動画あり



参加したDJ兼デザイナーが作成したイベントのフライヤー

## 2. 活動の成果

- イベント参加者、来場者ともに多数
- 補助金の活用もあり入場無料での開催
- 八女市内外から人が集まり交流するイベントになった



イベント全体の様子



←会場装飾として作成した竹を使ったオブジェ  
出店者なども数名手伝い  
WSのような感じに

## 3. 今後に向けて

### 【活動をとおして分かったこと（課題）】

○本来の事業計画にあった市民DJの会等の小イベントは実行できなかった。団体の活動を自分一人で担いすぎた。分業や人を巻き込むことをうまくやっていきたい。

### 【今後の活動のビジョン】

○イベントの規模は小さくなくても継続的に実施できるような形態を目指したい

# フリースタイルマーケット (活動の動画アーカイブ保存)

## 八女の道草をつくる (フリースタイルマーケット)

### 1. 活動の内容

#### ○活動の目的 (目標)

- ・参加方法自由型のイベント  
「フリースタイルマーケット」の開催

・関連団体が実施するイベントを  
動画やSNSを利用してアーカイブすること

#### ○活動内容 (どういったことをしたか)

- ・「フリースタイルマーケット」の開催
- ・イベントの様子を撮影・編集しYouTubeに公開



アップロードされた動画

## 2. 活動の成果

○「フリースタイルマーケット」を開催した。当日の飛び入り参加者も多く、参加ハードルが低い/場所があれば人が集まるという発見があった

○「フリースタイルマーケット」および「ダンスインゲンヤクショ」の動画アーカイブを残すことができた

※ブースで動画視聴用PCを設置しています



写真を撮影する参加者



お茶を振る舞う参加者

## 3. 今後に向けて

【活動をとおして分かったこと（課題）】

○動画でのアーカイブを残すことで、今後同じような活動をしている人の参考や、八女市でのイベント情報として外部から参照しやすい状態になって良いと感じた。ただその動画をどう拡散するか、見てもらうかというのは課題点。

○団体の活動を自分一人で担いすぎたため小回りが効かず、予定していたより少ない活動回数になった。

【今後の活動のビジョン】

○継続して活動しつつも、要所要所では動画やSNS等でのアーカイブを残すことを意識していきたい。その活動内容や記録がまた他の団体の参考や刺激になるとよい。

茶のくに  
八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME